

食よく、バランスよく。

「新・日本型食生活」をめざして



2018年3月期 第2四半期

決算説明会資料

(2017年4月1日～2017年9月30日)

2017年11月9日



フジッコ株式会社 (2908)

<http://www.fujicco.co.jp/>

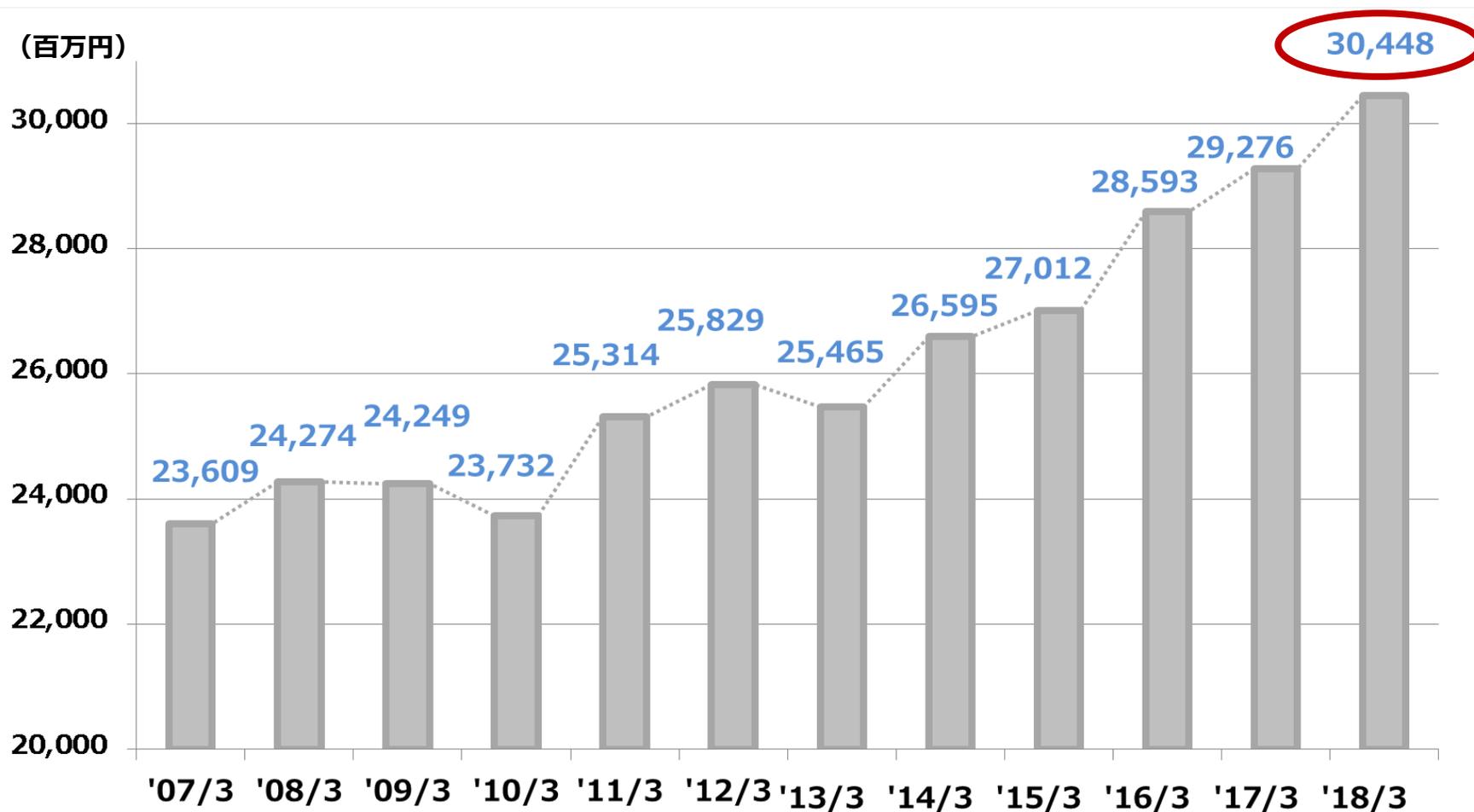
2017年度上半期トピックス

代表取締役社長

福井 正一



第2四半期累計期間 連結売上高の推移

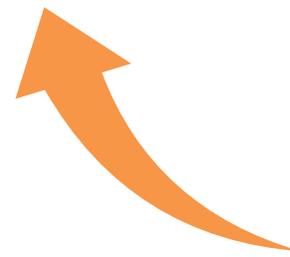


売上高	23,609	24,274	24,249	23,732	25,314	25,829	25,465	26,595	27,012	28,593	29,276	30,448
[前期比]	100.9%	102.8%	99.9%	97.9%	106.7%	102.0%	98.6%	104.4%	101.6%	105.9%	102.4%	104.0%



全国エリアに供給スタート

～ 美味しさ・日持ち・食べきり ～





伸長する市場に新商品の投入



3か月連続3大都市圏で放映

5/10～6/10 首都圏
6/10～7/10 近畿圏
7/10～8/10 中京圏



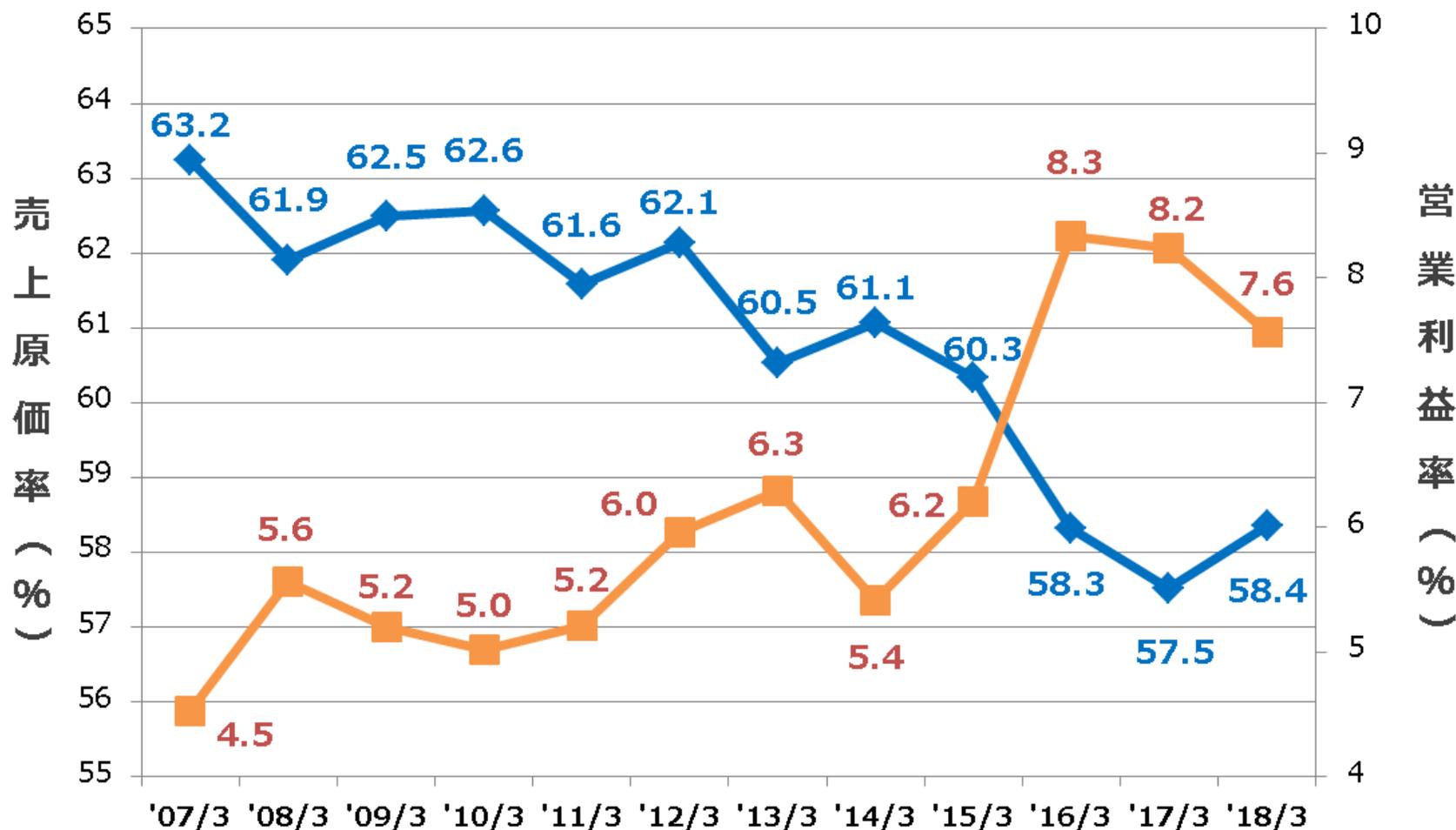
 **日本の**
ねばり強さを
つくる カスピ海乳酸菌
※正式名称：クレモリス菌FC株

\\ねばれる/
フジッコ ねばる 🔍検索

カスピ海ヨーグルト

カスピ海ヨーグルト
カスピ海ヨーグルト
カスピ海ヨーグルト

第2四半期累計期間 売上原価率・営業利益率の推移





よかった点

- ◎ 増収キープ、第2四半期初の売上高300億円台へ
- ◎ 包装惣菜（おばんざい小鉢）の躍進

悪かった点

- ◎ 営業利益は4年ぶりの減益、経常利益、四半期純利益も減益
- ◎ 日配惣菜に対する取り組み
- ◎ 塩こんぶ、ヨーグルトは期待には届かず

老朽化施設を一新（投資総額46億円）





お手軽万能うま味調味料

「ふりふり塩こんぶ」





小鉢シリーズの拡充

赤枠内はテスト販売対象商品

佃煮



惣菜



煮豆





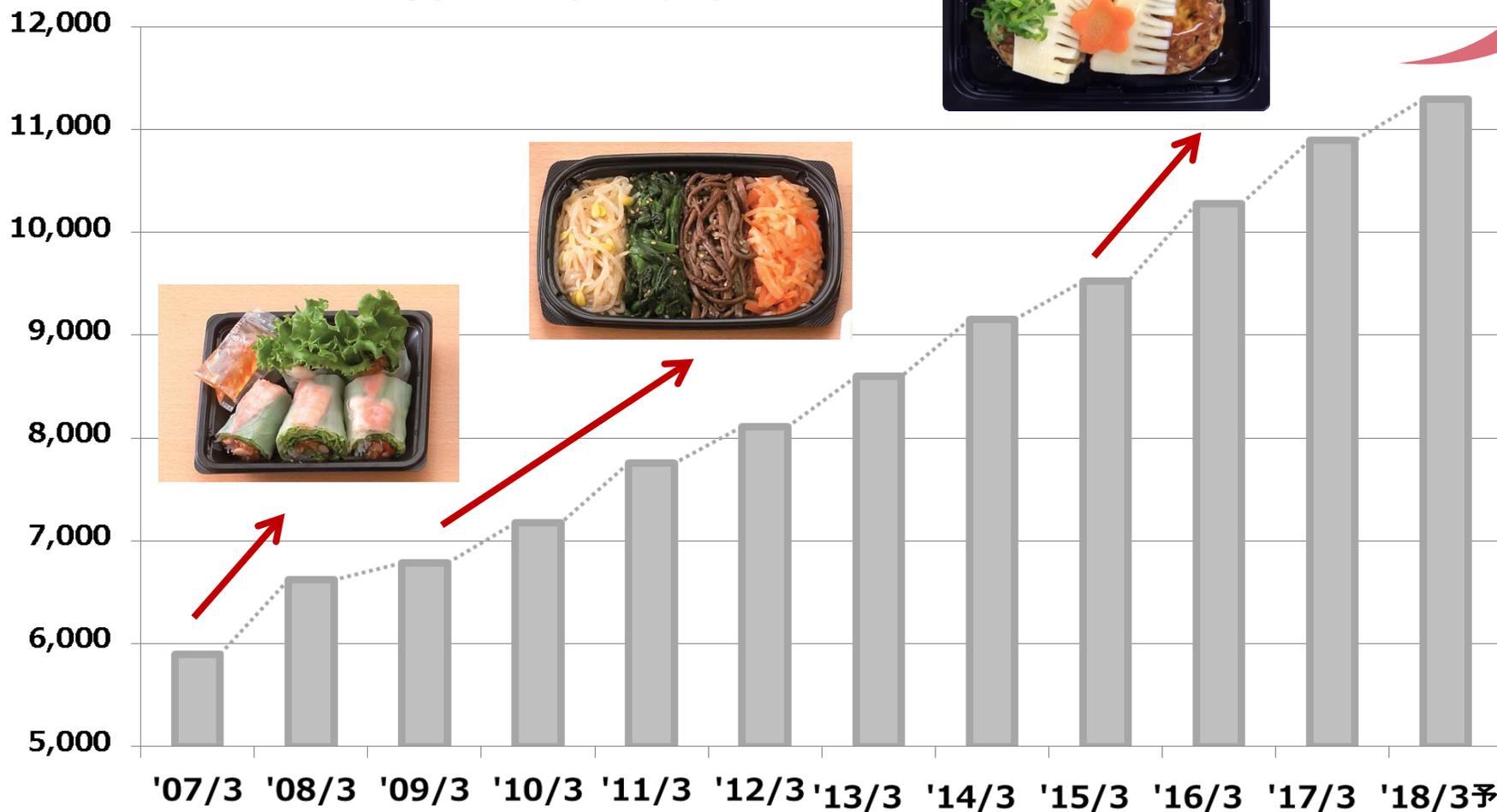
日本の伝統食「大豆」 + 西洋の健康食「ヨーグルト」



* 本商品は牛乳は使用しておりません。

事業成長には必ずヒット商品あり

(百万円) 日配惣菜 年間売上高の推移



2017年度 上期決算概要と通期業績の見通し

**専務取締役
経営管理本部長**

奥平 武則

上期決算概要

連結損益計算書（前年同四半期比）



	2017/3期第2Q		2018/3期第2Q		増減額
	百万円	%	百万円	%	
売上高	29,276	100.0	30,448	100.0	1,172
売上原価	16,840	57.5	17,770	58.4	929
売上総利益	12,435	42.5	12,678	41.6	242
販売費及び一般管理費	10,022	34.2	10,375	34.1	353
営業利益	2,413	8.2	2,302	7.6	△111
営業外損益	210	0.7	177	0.6	△33
経常利益	2,624	9.0	2,479	8.1	△144
特別損益	△130	△0.4	△41	△0.1	88
税引前利益	2,493	8.5	2,437	8.0	△55
四半期純利益	1,678	5.7	1,668	5.5	△9
1株当り純利益 [潜在株式調整後]	56円18銭 [56円15銭]		55円83銭 [55円76銭]		△35銭 [△39銭]

※ 四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益になります。



売上高は増収キープ、第2四半期初の300億円台へ 営業利益、経常利益、四半期純利益*とも減益 (営業利益は4年ぶりの減益)

- ◎ 売上高は1,172百万円の増収
- ◎ 売上原価率は58.4%、前期より0.9ポイントの悪化
- ◎ 販管費率は34.1%、前期より0.1ポイントの改善
- ◎ その結果、営業利益は111百万円の減益、
営業利益率は7.6%と前期より0.6ポイントの悪化
- ◎ 経常利益は144百万円の減益
- ◎ 四半期純利益*は9百万円の減益
- ◎ 1株当たり四半期純利益は55円83銭、前期より35銭の減少
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は55円76銭

* 四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益になります。

連結製品分類別売上高（第2四半期累計期間）



(百万円)	前期 実績	構成比 %	当期 実績	構成比 %	前期差	前期比 %	会社 予想	予想差	予想比 %
惣菜製品	9,163	31.3	9,677	31.8	514	105.6	9,680	△3	100.0
昆布製品	8,188	28.0	8,220	27.0	31	100.4	8,309	△89	98.9
豆製品	6,196	21.2	6,471	21.3	275	104.4	6,560	△88	98.6
ヨーグルト製品	3,108	10.6	3,299	10.8	190	106.1	3,447	△148	95.7
デザート製品	1,976	6.7	2,101	6.9	125	106.3	1,956	144	107.4
その他製品	642	2.2	677	2.2	35	105.4	644	33	105.2
合計	29,276	100.0	30,448	100.0	1,172	<u>104.0</u>	30,600	△151	99.5

◎ 売上をけん引した品群（前期差）

包装惣菜	+ 269百万円
日配惣菜	+ 245百万円
蒸し豆	+ 198百万円
カスピ量販	+ 165百万円

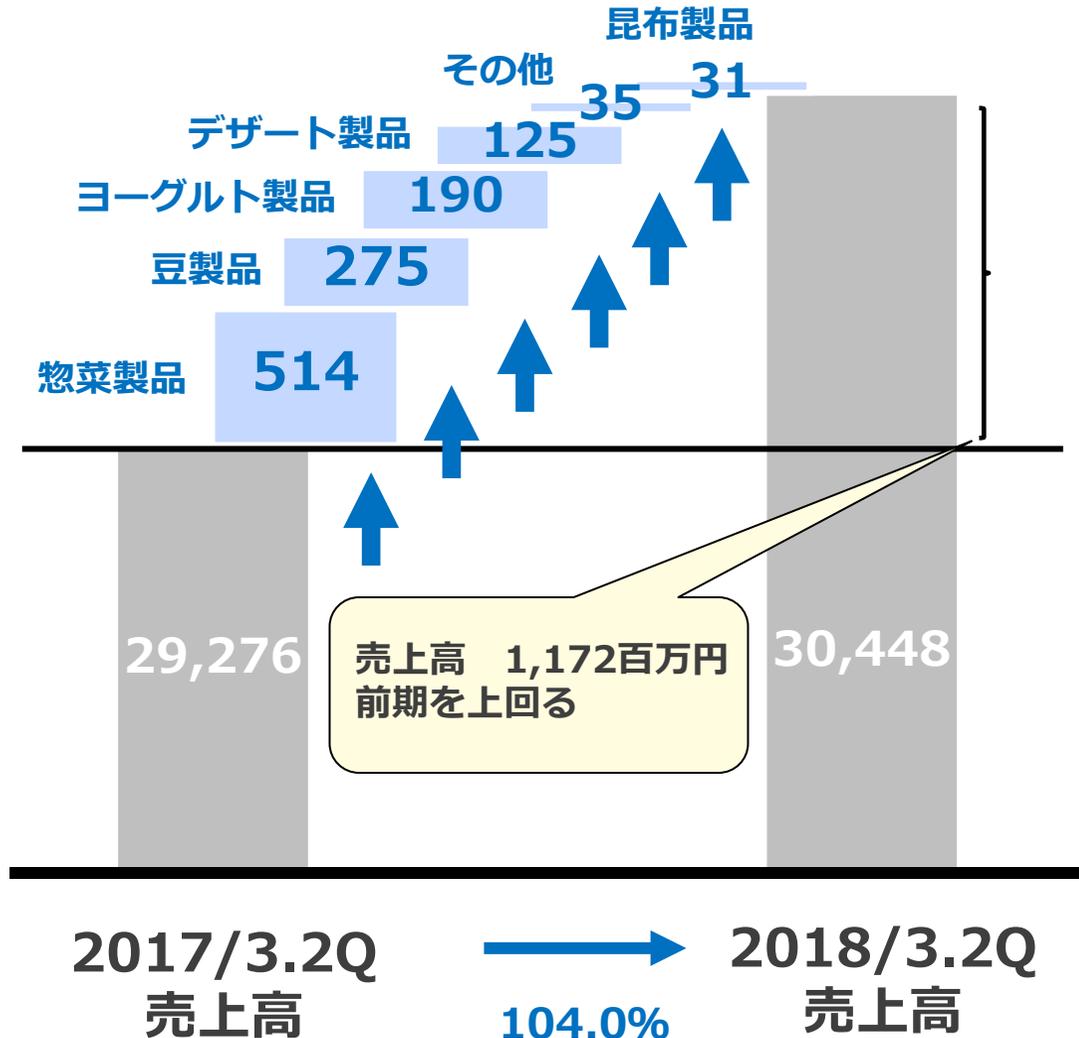
◎ 全体では前期より増収も、 会社予想には151百万円の未達

塩こんぶ	△ 187百万円
カスピ海	△ 148百万円
煮豆	△ 92百万円

売上高の増減要因分析（前年同四半期比）



単位：百万円



【総括】

すべての製品分類で伸長

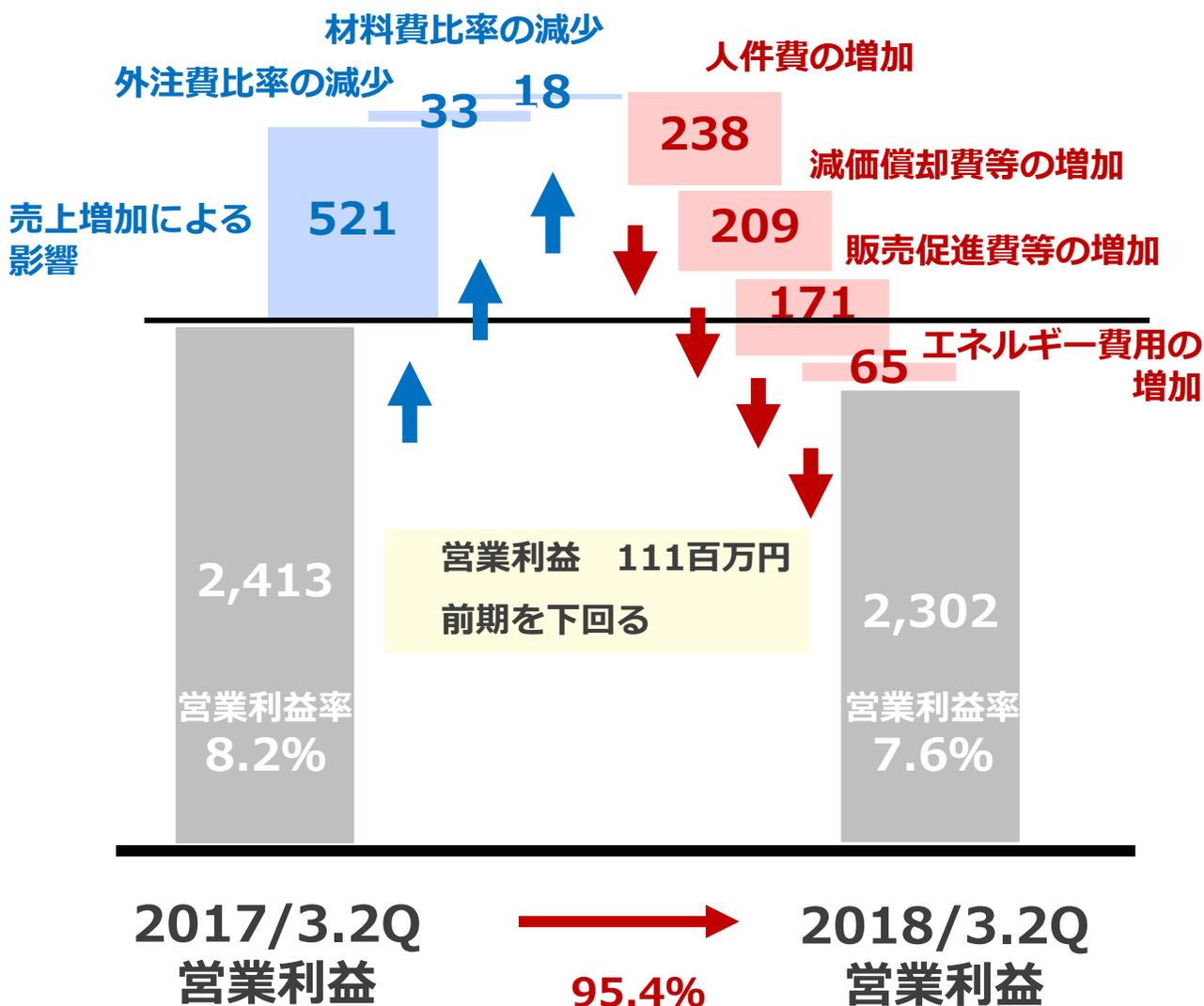
惣菜製品では包装惣菜、日配惣菜とも伸長
豆製品では蒸し豆、「豆小鉢」がけん引

売上高は前期より1,172百万円上回った

営業利益の増減要因分析（前年同四半期比）



単位：百万円



【総括】

営業利益の減少は、販管費比率を前期より抑えたものの、売上原価率が上昇したことが大きい。外注費比率、材料費比率が減少したものの、減価償却費等の製造経費の増加を補うことができなかった。

【増加要因に対するコメント】

- ・売上高は、すべての製品分類が伸長

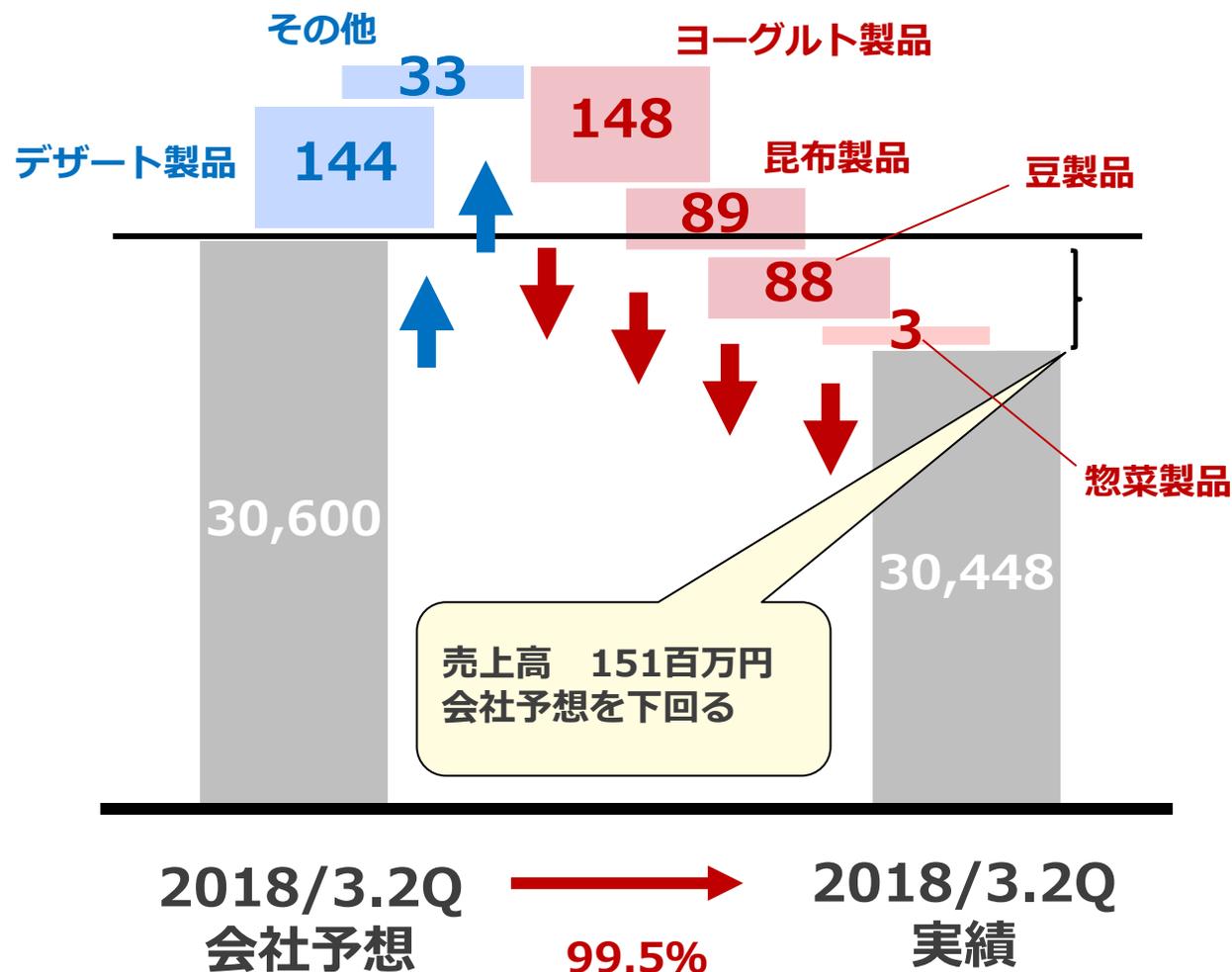
【減少要因に対するコメント】

- ・人件費の増加
- ・減価償却費等の増加
- ・販売促進費等の増加

売上高の増減要因分析（会社予想との比較）



単位：百万円



【総括】

デザート製品は会社予想を上回った

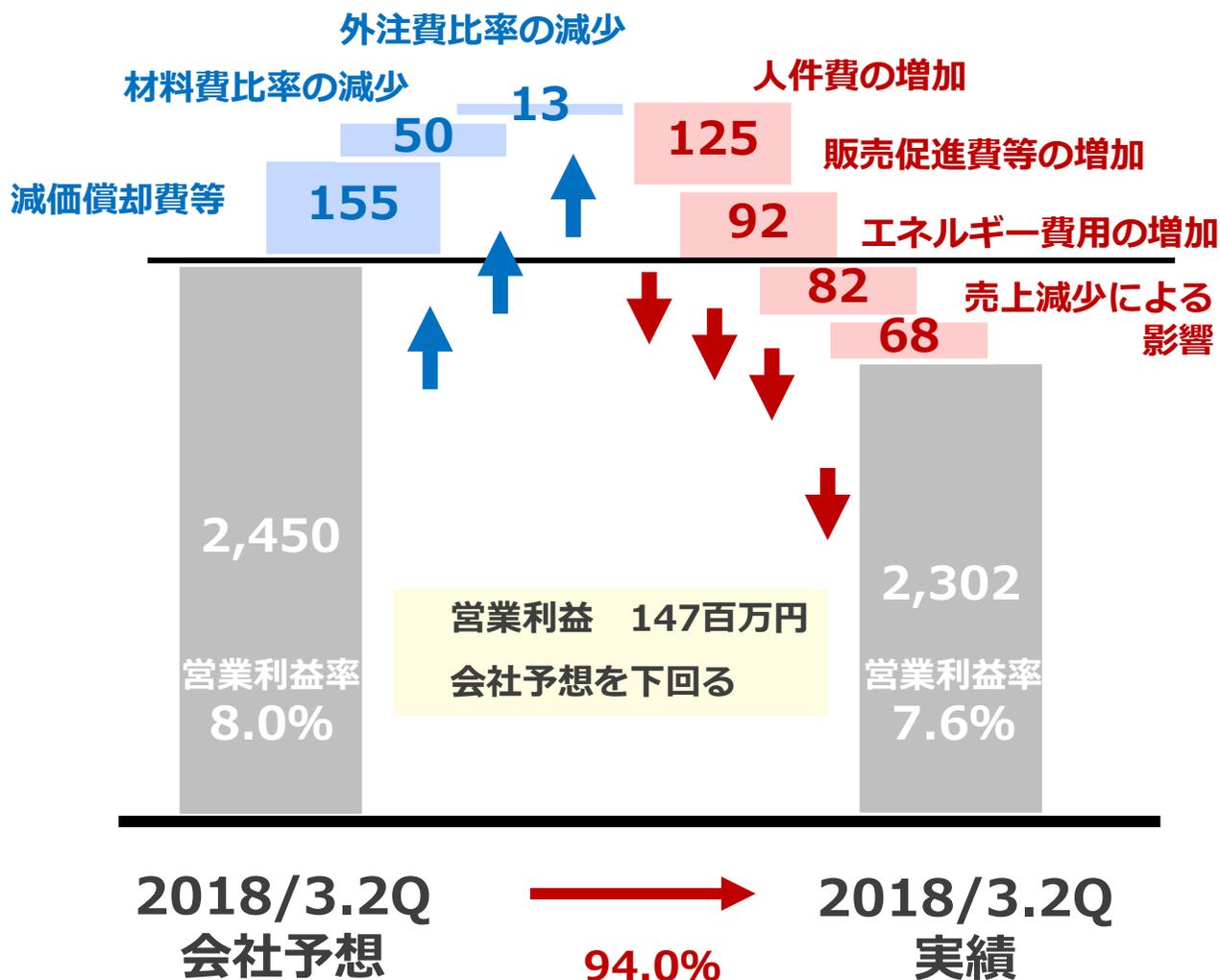
ヨーグルト製品、コア事業の昆布製品と豆製品、惣菜製品が会社予想を下回った

売上高は会社予想より151百万円下回った

営業利益の増減要因分析（会社予想との比較）



単位：百万円



【総括】

売上高は会社予想に届かなかったことに加え、人件費、販売促進費、エネルギー費用等の増加分を材料費比率、外注費比率の改善で補うことができなかった。

【増加要因に対するコメント】

- ・材料費比率の改善は、主に惣菜製品の貢献度が大きかった

【減少要因に対するコメント】

- ・人件費の増加
- ・販売促進費等の増加
- ・エネルギー費用の増加

通期業績の見通し

連結製品分類別売上高



(単位：百万円)	2017/3 実績	構成比 %	2018/3 予想	構成比 %	前期差	設定率
惣菜製品	18,920	31.1	20,223	31.8	1,303	106.9%
昆布製品	17,516	28.8	17,694	27.8	178	101.0%
豆製品	13,702	22.5	14,385	22.6	683	105.0%
ヨーグルト製品	6,216	10.2	6,858	10.8	642	110.3%
デザート製品	3,177	5.2	3,163	5.0	△13	99.6%
その他製品	1,328	2.2	1,274	2.0	△54	95.9%
合計	60,860	100.0	63,600	100.0	2,739	104.5%

取り組み方針

- 惣菜製品 : 包装惣菜「おばんざい小鉢」の販売拡大
- 昆布製品 : 塩こんぶの拡販
- 豆製品 : 煮豆トータルの継続伸長、蒸し豆のシェアアップ
- ヨーグルト製品 : 「カスピ海ヨーグルト」の店頭回転率アップ
- デザート製品 : フルーツセラピー期間限定新商品「ゆず」の投入

連結業績予想

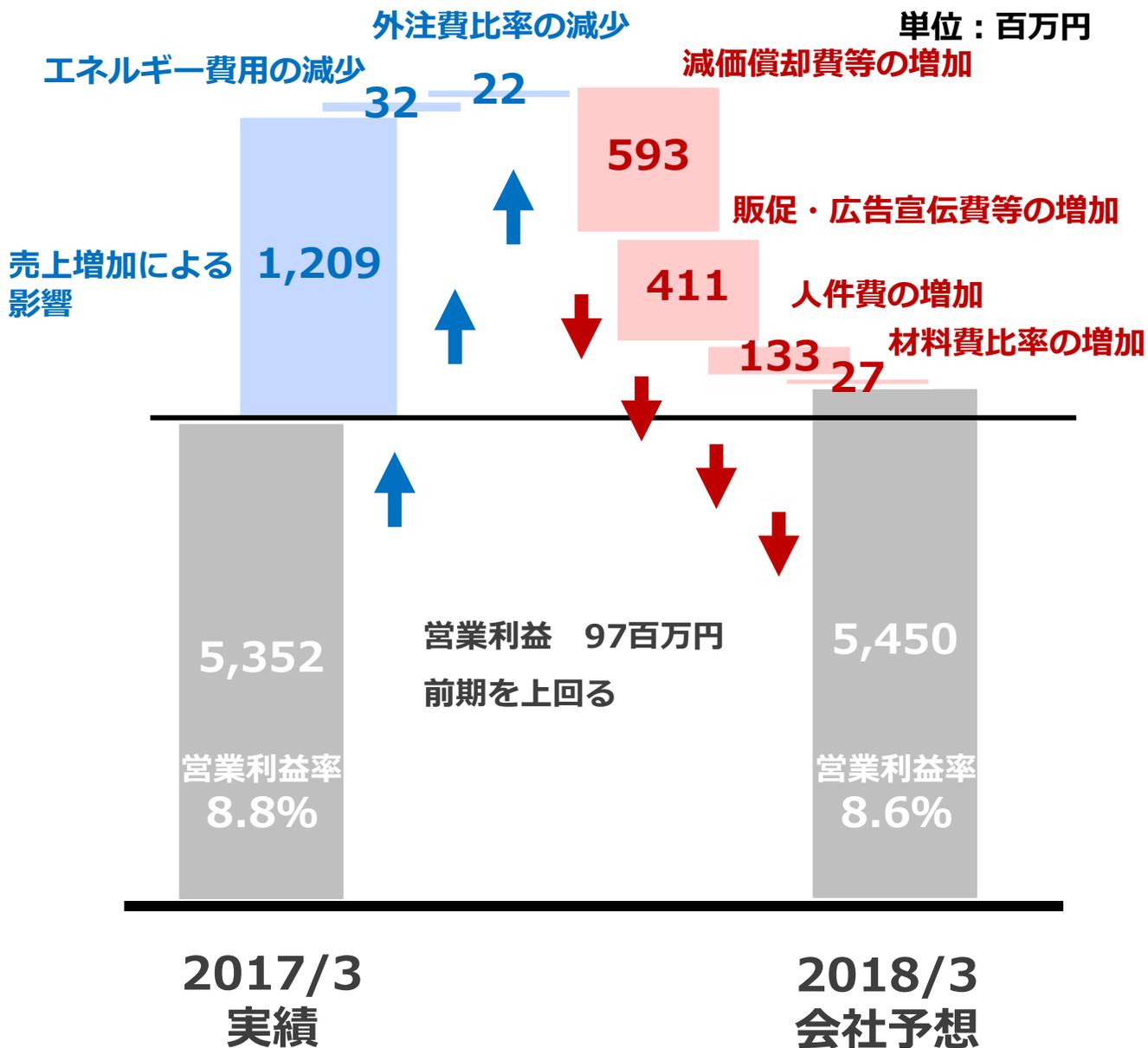


	2017/3期		2018/3期予想		増減額
	百万円	%	百万円	%	
売上高	60,860	100.0	63,600	100.0	2,739
売上原価	35,368	58.1	37,140	58.4	1,771
売上総利益	25,491	41.9	26,460	41.6	968
販売費及び一般管理費	20,139	33.1	21,010	33.0	870
営業利益	5,352	8.8	5,450	8.6	97
営業外損益	351	0.6	300	0.5	△51
経常利益	5,703	9.4	5,750	9.0	46
特別損益	△186	△0.3	—	—	186
税引前利益	5,516	9.1	5,750	9.0	233
当期純利益*	3,791	6.2	4,000	6.3	208
1株当り当期純利益	126円92銭		133円85銭		6円93銭
1株当り配当金	35円（中間17円）		36円**（中間18円）		1円

* 当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益になります。

** 年間配当金36円のうち、期末配当金18円は予想。

営業利益の増減要因分析（前期比）



【ポイント】

9期連続増収営業増益を目指す

① 会社予想どおりの増収

② 売上原価率の改善

- ・ 資材コストダウン
- ・ 固定費の節減

③ 販管費率の改善

- ・ 販売経費の総枠管理
- ・ FCR-1の推進



この資料には、当社の現在の業績見通しなどが含まれております。それら将来の予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの予想などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

～ お問い合わせ先 ～

経営企画部	尾西まで
TEL	078-303-5921
FAX	078-303-5949